

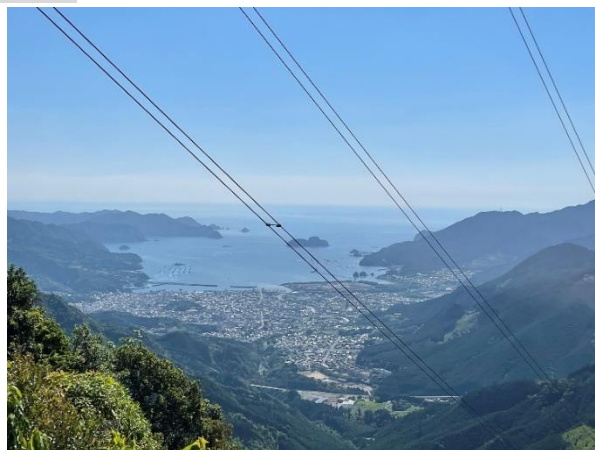
グループホームで働きませんか？

地域で生きていきたい。生きて欲しい。

私たちは、重度・重複の障がいを持っていても、人と人とが繋がる地域で、「自立したい。自立してほしい。」という思いから、NPO 法人を設立し、「和家」（障がい者グループホーム）を運営しています。

私たちが、活動している尾鷲市は三重県南部に位置し、熊野灘と大台山系に囲まれています。津市（県庁所在地）などの都市部から自動車専用道路を利用して1時間程かかります。

障がい者の暮らしは、1970 年頃までは、地域で生きることが難しく、都市部の入所施設や親・兄弟の保護のもとで暮らしていました。1970 年以降、当地域でも、療育教室、障害児保育、作業所や養護学校（現、特別支援学校）などが整備されてきました。しかし、重度障がい者の暮らしの場が、現在に至ってもありませんでした。そのため、保護者が中心となって、重度・重複障がい者のグループホームを開設しました。



「和家」の理念と課題

グループホームを運営する上で、大切にしていることがあります。

①小規模で家庭的なグループホーム

少人数で暮らすことによって、一人ひとりの生き方や生活を尊重し、プライバシーを守ります。

②地域交流と社会参加

人は人との関係の中で生きています。地域やボランティアの人たちとの交流、買い物や地域のイベントなどにも参加しています。

③安心、安全、快適な住まいの追求

グループホーム内はバリアフリーとなっています。災害時の長時間の停電等にも電源確保や災害対策の整備も行いました。これからも安心・安全・快適な住まいを追求していきます。

地域の問題

当地域は過疎化・高齢化・若年者の流出は著しいものがあります。雇用の確保は福祉に限らず、困難を極めていますが、地域の課題に向き合うことで、生きがいとしている活動も見られます。私たちの活動もその一つです。

「和家」では情熱のある支援者を求めています。

「和家」の理念の追求と実践は地域の課題の解決に繋がっています。そして、入居者の支援をとおして、私たち自身の生きがいとなっています。実際、支援の現場では、「支えるつもりが支えられていた」と、気付くことも多くあります。

福祉や介護職は、誰かがしなければならない大切な仕事です。開設後 4 年が経過しましたが、多くの課題が山積しております。これからも、努力を重ねていきたいと思っています。一方、私たちの理念と実践を継続していくためには、入居者の人権を尊重し、「同じ目線で関係を築く」、熱意のある支援者を必要としています。

ぜひ、私たちと一緒に、「障がい者の暮らしのスタイル」、「新しい地域づくり」に参加をしていただけないでしょうか？（※雇用条件等については、当法人就業規則、給与規則によります。詳細については、お問い合わせください。）

※ 写真は大台山系と熊野灘に囲まれた尾鷲市街地です。尾鷲市は海・山・川などの豊かな自然に恵まれています。豊かな自然は、豊かな暮らしに繋がっています。暮らしを創造していく喜びがあります。

【連絡先】 電話：0597-37-4030 FAX：0597-37-4031 メール：magumagu@gaea.ocn.ne.jp
(担当：伊藤)